

## ノルウェー沿岸警備隊員、 北極海域に閉じ込められた クジラを解放



北ヨーロッパ沿岸で、ノルウェー沿岸警備隊がロープに絡まったクジラを救助した後、クジラが尾を翻して自由に泳ぎ去ったことが映像で明らかになった。この鯨は、尾をロープとブイに絡ませた状態で、バレンツ海の海面に無気力に浮かんでいた。

記事参照：Norwegian Coast Guard crew free a whale trapped in Arctic waters - ArcticToday (2022.7.1/Arctic Today)



## アラスカを語る： 物価上昇と魚の減少の中、 アラスカ都市部と農村部の 人々のための食の安全確保



連邦政府のCOVID救済プログラムが終了するのと同じように、ガソリン・ポンプや食料品店での価格高騰がアラスカの人々にプレッシャーを与えている。農村部では、自給自足の機会が減少し、地元の食料を収穫することが難しくなり、より高価になっている。地域社会、部族、州の支援者たちは、このギャップをどのように埋めようとしているのか？

記事参照：Talk of Alaska: Food security for urban and rural Alaskans amid rising prices and fewer fish - Alaska Public Media (2022.7.1/Alaska Public Media)

←A whale entangled in ropes and a buoy is pictured, in the Norwegian part of the Barents Sea on June 29, 2022. (Norwegian Coast Guard / Handout via Reuters)

## バイデン政権による最新の 海洋掘削計画 アラスカの北極圏を除外



バイデン大統領の政権は、既存の生産地域における米国のオフショア石油・ガス開発の5カ年計画を発表し、最終計画では、リース販売が0件から11件になる可能性があるとして述べた。このうち、アラスカ北部沿岸のビューフォート海やチュクチ海ではいずれの販売も行われませんが、アラスカ中南部のクック湾での売却が1件含まれている。残りの10件の販売候補地はメキシコ湾にある。

記事参照：Alaska's Arctic is left out of Biden administration's latest offshore drilling plan - ArcticToday (2022.7.4/Arctic Today)

## 北極は世界の他の地域より 約4倍近い速さで温暖化 新しい研究で明らかに



新しい研究によると、北極は過去43年間で、世界の他の地域よりも4倍近い速さで温暖化している。つまり、北極は1980年に比べて平均で約3°Cも気温が上昇していることになる。

記事参照：The Arctic is warming nearly four times faster than the rest of the world, new research finds - ArcticToday (2022.8.11/Arctic Today)

## 気候変動がホッキョククジラ を北上させる



イッカク、ホッキョククジラ、シロイルカが北上していることが、新しい研究で明らかになった。海水温の上昇が原因であり、北極海域に生息する他の生物種に影響を及ぼすと科学者は警告している。

記事参照：Climate Change Forces Arctic Whales North (highnorthnews.com) (2022.8.11/High North News)

## 北極圏アラスカ州の貯油施設 でのディーゼル油流出事故 収束



アンカレッジ・デイリー・ニュースの報道によると、アラスカのポイント・レイの貯油施設で約18,000ガロン（81,830リットル）のディーゼル燃料の流出が収まった。この流出事故は、ポンプのバルブの故障が原因である可能性が高いとのこと。

記事参照：Diesel spill at Arctic Alaska tank farm contained, reports say - ArcticToday (2022.8.12/Arctic Today)

## 氷河学者、3Dモデルを使って ミルネフィヨルドの棚氷の 喪失を研究



最近まで、カナダのエルズミア島にあるミルネフィヨルドには、北極圏で数少ない棚氷湖（陸から流出した水が棚氷の後ろにあるフィヨルドに閉じ込められてできる淡水湖）が存在していた。その浮氷棚（ミルネフィヨルド棚氷）は、2020年7月に部分的に崩壊し、湖の水が流出する原因となった。その余波は、その後、海洋学者から氷河学者まで、北極圏の研究者の重要な焦点となっている。記事参照：Glaciologist using 3D models to study loss of shelf ice at Milne Fjord - ArcticToday (2022.8.24/Arctic Today)



Glacier researcher Anna Crawford (left) pulls a device that is collecting data on the thickness of the Milne Fjord ice shelf on a research trip to Ellesmere Island earlier this month. Crawford uses 3D computer models to look at how glaciers and different forms of big ice deteriorate. (Dustin Patar)

## 北極を冷やすには、具体的に どうしたらよいか？



北極は世界の他の地域に比べて4倍、地域によっては7倍もの速さで温暖化が進んでいる。これは、ノルウェーの科学者グループによる新しい研究結果である。この効果は「北極増幅」と呼ばれよく知られているが、今回の研究では、北極圏はこれまで考えられていたよりもさらに急速に温暖化していることが明らかになった。では、北極圏の温暖化を食い止める方法はあるのだろうか？幸いなことに、実際には証明されていないものであっても、私たちが追求できる可能性はある。記事参照：What could we do to cool the Arctic, specifically? - ArcticToday (2022.8.23/Arctic Today)

## イカルイト市、水不足に 伴う非常事態を宣言



この3年間で初めて、カナダのイカルイト市は水不足による非常事態に陥った。市議会は金曜日の午後に緊急会議を開き、市の原水貯水池であるジェラルディン湖に十分な水がある状態で冬を乗り切る方法を話し合った。記事参照：Iqaluit declares local state of emergency over water drought - ArcticToday (2022.8.15/Arctic Today)

## 北極は過去7,500年において、最も暖かくなっているとの研究結果



過去7500年間、北極は現在ほど温暖ではなかったと、学術誌ネイチャー・コミュニケーションズに発表された研究により宣言された。紀元前5618年まで遡った木の年輪を分析した結果、「産業革命時代の温暖化は前例のない速度であり、夏の気温は過去7千年間に復元されたものより高いレベルまで上昇していることが判明した」という。

記事参照：Arctic has not been as warm as today in over 7,500 years, study says - ArcticToday (2022.8.25/Arctic Today)



Ice floats on the Arctic Ocean. (dpa)

北極域は、気候変動の影響により大きな変化に直面しています。その変化は、自然環境のみならず、政治経済、社会、北極先住民及び住民の生活や暮らしにも及び、それらが複合的に絡み合った形で相互作用しています。こうした変化への適応、適応能力やレジリエンスの育成のプロセスは、複雑で予測困難な社会的課題であると同時に、現地住民のwell-beingを獲得するための機会となっています。

『北極域実践コミュニティ VOICES from the ARCTIC』は、北極域実践コミュニティの情報発信の活動の一環として、北極域の多岐にわたる社会的課題やその解決に向けた取組に関連するニュースを集めて、ダイジェストしたものです。北極域の社会的課題と世界的な課題との関連性を示すため、国際連合『持続可能な開発目標（SDGs）』の17の目標との対応関係を各ニュースに付しています。今回のVol.13は、主に2022年7～8月のニュースを掲載しています。

発行元：ArCS II 国際政治課題 北極域実践コミュニティ事務局  
監修：大西富士夫（北海道大学北極域研究センター）  
E-mail：tdcop@arc.hokudai.ac.jp  
WEBサイト：https://tdcop.arc.hokudai.ac.jp/

